

1.公開アンケート実施の経緯について

私たちは、自分たちが住む岩手県が「ジェンダー平等で多様な人々が尊重される社会」になるよう、活動している県民有志のグループです。先の国会では、「選択的夫婦別姓制度をめぐる法案」が継続審議となりました。また、世界経済フォーラム（WEF）発表のグローバル・ジェンダー・ギャップ指数は148か国中、118位となっており、ジェンダー平等政策は足踏み状況にあります。今回の参議院議員選挙にあたって、私たちが求めるジェンダー平等政策について、立候補された方々のお考えをお尋ねし、回答を公表することによって有権者の方々の関心を高め、有権者の選択の参考として提供したいと考えています。

候補者の氏名	党派名	1.女性の政治参画のため、政党の候補者リストにクォータ制(女性割当制)の導入を推進する	2.防災・復興の場に女性や多様な人々の参画を推進する	3.選択的夫婦別姓制度の実現を推進する	4.同性婚の実現を推進する	5.1985年に日本が批准した女性差別撤廃条約について、選択議定書の批准に向けた取り組みを推進する	
		賛成/反対	賛成/反対	賛成/反対	賛成/反対	賛成/反対	
		選択の理由や具体的な方針や取り組み	選択の理由や具体的な方針や取り組み	選択の理由や具体的な方針や取り組み	選択の理由や具体的な方針や取り組み	選択の理由や具体的な方針や取り組み	
1	吉田博信 さん	NHK党	賛成	賛成	反対	反対	反対
		女性が政治活動へ参画できるような社会を実現することに強く賛成ですが、法制化は男性への不平等を入れることとなります。まずは女性の政治参画のための活動をすべきと考えます。政治家になるためのハードルが高いと感じます。そのハードルは、2世議員が多いことが示していると思います。	各人の能力に応じて参画してよい。推進のための障害が具体的にわからないので取り組みは言えない。	いまの日本の制度の枠内で対応可能と考えます。変更するメリットが少なく、日本の家族制度が壊れると考えます。	推進しませんが、同性婚は、事実婚でいいと思います。不確かですが、憲法を改正しないとだめだと聞いてます。	目的:女子に対するあらゆる差別を撤廃し、男女の完全な平等を達成することとAIに出てきました。完全な平等は無理です。ここがおかしいので完全反対ではないですが、どちらかといえば反対です。	
2	横沢たかのり さん	立憲民主党	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
		ジェンダーギャップを解消するには、まず立法の現場から。政党ごとの取り組みを後押ししつつ、法改正などを進める。	女性でなくては気付けにくい困難がたくさんある。自治体等への指導、要請を徹底。	女性活躍の場面を増やすためにも必要。法律による推進。	誰もががのぞむ生き方をできるようにする事が望ましい。当事者の皆様の声を国会に届ける。	女性に対するあらゆる差別を撤廃する必要がある。取り組みを進めている方々の声を国会に届ける。	
3	及川たいすけ さん	参政党	回答等の返信が届いていない状況(7/7現在)				
4	平野たつお さん	自由民主党	7/4県内各地にて活動中のため、事務所に戻る暇がない状況との返信あり(7/7現在)				